2016/17 WEEKLY BULLETIN

国際ロータリー第 2790 地区第 3 分区B

市原ロータリークラブ会報

人類に奉仕するロータリー

第 2561 回例会　2016 年 9 月 7 水）　SAA（司会）／津留会員　会報担当／篠田会員

事務局　市原市五井中央西 1-22-25 市原商工会議所２Ｆ　例会場　五井グランドホテル

●点　鐘　市原 RC 会長　西村芳雄
●ソング　君が代　奉仕の理想　４つのテスト
●お客様　市原中央高等学校　顧問木島先生
PJ 交換学生　５名

●会長挨拶　市原 RC 会長　西村芳雄

皆さん、こんにちは。

今日は、市原中央高校のインターアクトクラブ顧問の木嶋先生とPJ派遣交換学生としてマレーシアから帰国された5人の生徒さんが来られております。7月13日にこの例会場におきまして各自に抱負を語って頂きましたが、実際に現地を訪問しどうだったのでしょう。いろいろなお土産話があると思います。後程お一人ずつ現地での体験などを語って頂きます。そして、この例会終了後に、小出市原市長を訪問し帰国報告をして頂きます。

ところで、今日お見えになっておられますが、蔵内会員は今月1日に退院されました。お目出とうございます。この上は、ゆっくりとリハビリされご活躍されることを期待しております。

そしてまた、嬉しいことに、結婚・誕生月の西村美和子会員の卓話が1年ぶりに聞けます。宜しくお願い致します。

さて、既報の通り今週5日の月曜日よりJR3駅で「あいさつ運動」を行ないました。しかし、明日予定しておりました小湊鉄道牛久駅は天候悪化が見込まれますので、止む無く中止することにしました。今回、早朝のお忙しい時間にも関わらず参加していただいた会員の皆さんには、お礼申し上げます。この「あいさつ運動」の目的は、地域住民の繋がりを広げることにより、住みよい社会を作ることにあります。今回は、5月にご参加いただいた方たちは勿論の事、新たに、小・中・高の大勢の生徒さんたちや教職員の方々が、独自ののぼり旗やタスキを持参され参加されました。また、職域では杉原会員が千葉銀行の行員さん達を伴って参加していただきました。そして参加を呼び掛けておりました市原中央RCより三好会長ほか4名の参加もあり、今日までの3日間で250人は優に超える参加者になりました。皆さん方には、大変感謝致しております。後日、始関会員に総括して頂きます。

そしてロータリーについてですが、今月は基本的教育と識字率向上月間です。私、勉強不足ですので少し調べてみました。識字は、日本では読み書きと呼ばれ、基本的教養のひとつで初等教育で教えられております。そのため、日本では、識字率はほぼ100%だと言われております。但し、現役の中学校の先生によりますと、漢字についてはクラスで1～2人は読めないそうですが。そこで、昔はどうだったのでしょう。江戸時代の幕末期には、武士はほぼ100%が、庶民層でも男子は50%ぐらいが読み書き出来たそうです。黒船でやって来たアメリカ人のペリー提督が日本遠征記に次のように記しております。「読み書きが普及していて、見聞を得ることに熱心である」と。また、福沢諭吉は通俗国権論の中で、「およそ国の人口を平均して、字を知る者の多寡を西洋諸国と比較しなば、我日本をもって、世界第一等と称するも可なり」と。このように、日本では識字率については問題視されておりません。しかし、アジア・アフリカなどの開発途上国の人々が直面している最も大きなそして最も解決の難しい問題の一つがこの識字率なのです。ロータリーでは、各クラブが補助金等を活用し教育支援活動を行っておりますが、なかなか行き届いていないのが実情だとおもいます。私達のクラブも、将来において、何が出来るかをいろいろと研究していくべきかも知れません。

以上で、会長挨拶と致します。

本日のメインプログラム

マレーシア国外研修を終えて（帰国報告）

帰国報告の詳細は次ページ以降に掲載いたしました。

◆◇◆◇◆◇ニコニコ・ソーリー◆◇◆◇◆◇

始関会員
今年度のあいさつ運動に多数の会員ご協力頂き感謝致します。明日は荒天の為中止に致しますので宜しくお願い致します。

西村美和子会員
大変ご無沙汰していましたが、お元気な皆様にお目にかかれ楽しいお昼が過ごせました。ありがとうございました。

藏内会員
9 月 1 日に無事退院できました。8 月 22 日に胆のう全摘手術を開腹でしました。お酒も飲まないのに「膵臓炎」になったり、「胆管結石」を繰り返したのも胆のうが炎症していたせいでしょう。これから良くなると思います。最後にご丁寧にクラブからお見舞い頂きありがとうございます。

山本長期計画委員長
先日、委員会を開催し、会費のあまりをニコニコいたします。

万崎会員　平野会員
2015-2016 会計報告が終わりました。あとは事業報告のみです。がんばります。

箕輪会員
市原中央高校インターアクトクラブの皆様　今日はありがとうございました。事故もなく完了できた事に感謝してます。

西村会長　岡本幹事
西村美和子会員、結婚　誕生卓話ありがとうございました。また市原中央高校の生徒の皆さん、木嶋先生マレーシア滞在の報告をして頂きありがとうございました。貴重な体験が出来たようで我々もうれしいです。

■誕生祝　西村美和子会員
■結婚祝　西村美和子会員
■出席報告　前々回確定　67.56%　本日出席　23 名
欠席　17 名　本日出席率　58.97%
■点　鐘　市原 RC 会長　西村芳雄

マレーシア国外研修を終えて

濟　賀　　洸　希

マレーシア派遣の前にロータリークラブの例会に参加させていただき、マレーシア派遣では積極性で未熟な英語力をカバーしたいという話をしました。

その通り、マレーシアでは積極性を持ってコミュニケーションをとろうとすることができました。そのことに加えて、いっしょに派遣に行った四人が助けてくれたこと、マレーシアのホストファミリーやロータリークラブの方々が親切にしてくださったこともあり、何とか問題なく、コミュニケーションをとることができました。しかしそれは、マレーシアの方々といっしょに派遣に行った四人の助力があってこそです。英語で一人で誰とでもコミュニケーションをとれるようになるため今後も勉強を続けていこうと思います。

マレーシアでのできごとの中で特に話したいことは二回迷子になったことです。一回目は電車の中で寝ていたら、乗り過ごしてしまいみんなとはぐれてしまいました。
そこで近くにいた女性に　‘‘Ｗｈｅｒｅ　ｉｓ　ｍｙ　ｆｒｉｅｎｄ？’’とたずねたところ、路線図を指差し説明してくれたので、何とかみんなと合流することができました。
このことから私は、どうやったら外国で迷子になった時、みんなと合流できるのかということ、どんな時でもあきらめないガッツが大切だということも学びました。そして、日本で困っている外国人を見かけたらできる限りの助力をしようと思います。二回目はショッピングモールでみんなとはぐれてしまった時です。その時はアナウンスで名前呼ばれたので、一回目よりは簡単に帰って来れました。

このように、ちょっとしたアクシデントはありましたが、とても楽しく、充実した八日間でした。
改めまして、このような貴重な機会を設けていただき、市原ロータリークラブの皆様、本当にありがとうございました。

マレーシアに滞在した八日間、私はたくさんのことを学び、たくさんの貴重な経験をするとともに、自らの英語力の低さを痛感しました。今後は英語力を高めるため、より一層勉学にはげみたいと思います。

また、英語をただ単純に教科として学ぶのではなく、今後、英語を使って英語圏の人と交流することということを念頭に置き、世界にはどんな文化を持つ人がいて、どんな考えを持っているのか、テレビで報道される出来事にはどのような歴史的背景があるのか。
そういったことを理解し、さらにそのことについて自分なりの考えを持てるよう教養を高めていきたいと思います。

マレーシア国外研修を終えて

プロミニツ林　利寿

　マレーシアへ行く前にも、言いましたが、この度はこちらの素晴らしいプログラムに参加させていただき本当にありがとうございました。
　マレーシアへ行く前は、マレーシアがどのような国なのか、どのような人たちが住んでいるのか、どのような生活をしているのかはメディアで見るくらいの情報しか知りませんでした。実際に現地へ行ってみると、まず気がつくことは、今までたくさん言われてきた通り多文化国家だということです。それぞれ違う国籍を持った人たちが多いため、お互いの文化を理解し合うことが大事になってくると実感しました。マレーシアに着いてからの一番のカルチャーショックはトイレです。基本的にトイレレットペーパーが付いてなく、謎のホースが付いているのを見て、思わず戸惑ってしまいました。トイレだけでもこんなにも文化の違いを感じる事が出来るとは思っていませんでした、こういう経験もあったからこそ、今の自分の生活に感謝することができていると思います。
　現地では、シャイさを捨て積極的に話しかけることを心がけて過ごしました。ホストファミリーとは、行く前にビデオ電話にしたので不安も特になかったですが、やはりいざ対面してみると、シャイになってしまいましたが、すぐに会話が弾むようになりました。
現地の子たちにも自分から話しかけ仲良くなれました。中には、訛りが強く何度も聞き返してしまう時もありましたが、時間とともに慣れていきました。カトリック高校へ行った時に生徒も温かさに感動しました。教室へ入った時の歓声に思わず照れてしまいました。
黒板にフェイスブックの名前を書くと、ホームステイ先に帰って携帯を見たときに 10 件以上の友達リクエストがきていて少し人気者気分を味わうことができました。
フライトの日は、初めてのセスナに乗りました。乗らせていただいただけではなく、私に操縦させてくれ、私はパイロットになりたがっている兄よりも先に飛行機を運転してしまい気分がとても良かったです。
　長いようでとても短かった九日間で、素敵な絆が生まれ、本当にマレーシアへ来てよかったと思うばかりです。とても仲良くなれた友達と別れを告げることはすっごく辛く、みんな号泣でお互いの顔をちゃんと見ることも出来ないくらいでした。未だに現地の子とメッセージを送り合ったり、電話をしてます。
ホストファミリーとも連絡を取っています。
マレーシアの人々、料理、文化などマレーシアの全てが大好きです。マレー語または中国語などを少しでも身に付け、マレーシアに帰ることが新たな目標となりました。
　今までに経験したことのないこの貴重な体験は、確実にこれからの私の将来につながると思っています。マレーシア生徒派遣プログラムに参加させていただき心より感謝をしています。

マレーシア国外研修を終えて

末　吉　　紀　花

市原中央高校インターアクトクラブ二年の末吉紀花です。

今回は、マレーシア交換派遣研修プログラムに参加させていただきありがとうございます。本当にたくさんの経験をすることができました。

大人がいなく、五人だけで行くということもあり、はじめは不安でしたが、とても楽しんで行ってくることができました。ホストファミリーの方たちもとても優しく接してくださいました。近くの高校に行き、マレーシアの子と交流したり、サンウェイラグーン行き日本との違いを学ぶことが出来ました。高校に行ったときに、私が入ったクラスに日本の漫画が大好きな男の子がいました。その子の話を聞いたときに、日本の文化をマレーシアの子が知っているように、マレーシアの文化を日本に知らせていきたいなと思いました。

今回、日本とは違う文化に触れることができました。マレーシアに行ったことは、とてもいい経験になりました。このようなプログラムに参加できて、とてもよかったと思います。

マレーシア交換派遣研修プログラムに参加させていただきありがとうございました。

マレーシア国外研修を終えて

吉　野　　蓮

多民族国家のマレーシアで、私はたくさんの文化に触れ、たくさんの方々と交流をすることが出来ました。

私が英語が聞き取れない時には、聞き取れるまで何度も聞き返してくれたり、ファミリーデイにはホストファミリーが私の行きたいところへ連れて行ってくれたり、現地の方々は優しい方ばかりで、すごく良かったです。特に私は、日本に帰ってきた今でも、マレーシアで仲良くなった子と連絡を取り合っていることが一番うれしいし、行って良かったと感じました。八日間という短い期間でしたが、すごくたくさんの思い出が詰まった、価値のあるものになったと思います。今回の海外研修でお世話になった、市原ロータリークラブの方々、マレーシアのロータリークラブの方々、ホストファミリーや自分の家族などたくさんの方々に感謝をしたいです。マレーシアで感じたことや学んだ事を今後のインターアクトの活動や普段の生活、自分の将来したいことなどに生かしていけるといいと思います。

ありがとうございました。

マレーシア国外研修を終えて

張　太賢

海外への渡航は、今回のマレーシア派遣が最初ではありませんでした。しかし、今回の渡航はそれらの旅行とは比べられないほどよい経験になりました。家族旅行や学校で行く校外学習などで得ることのできないものを得ることができました。

私はこのマレーシア研修の八日間で、ホストファミリー、カソリック高校の生徒たち、他のロータリアン、韓国からの派遣生徒たち、またガイドさんたちなどの数えられないほどの人たちにであいました。八日間ではありましたが、彼らと話をすることができました。また、派遣プログラムに沿って旅をしていく中で、彼らの文化、生きてきた人生背景について、日本の文化、私自身についてともに話し合うことができました。こうやって仲を深める中で、わたしは、いろいろなことを感じました。

マレーシアは心の温かい国だというのを現地での八日間、毎日感じさせられました。どこに行っても優しく、親切に接してくださいました。齊賀君が電車とデパートで迷子になった時も、近くの道端を歩いていた人が助けてくれました。カソリック高校では、帰り際に四十人ひとりひとりの生徒のサインが書かれている体操服をプレゼントにもらいました。

文化が違い、言語が違い、私たちを取り巻く環境が違っても、仲良くなりたい、あいてについて、また文化について理解したいという気持ちがあれば、文化の壁は乗り越えられるということを感じました。そうして友達になったマレーシアの子たちとは今でも連絡を取っています。また、韓国の交換留学生たちも冬に日本に来るという話をききました。

この研修を通して私の世界に対する視野は確実に広がったと思います。それに加え、国際人としての姿勢も垣間見ることができたと思います。上記以外にも感じたことや学んだことはたくさんあります。それらを心に刻んで、今後のインターアクトの活動、普段の学校生活にうまく溶かして今までより良いものにしていきたいです。このような貴重な経験をさせて頂いたロータリークラブに感謝しながら事後報告を終らせていただきます。